

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 城陽市立古川小学校 】

1 実践テーマ	【 Ⅲ・Ⅴ 】
2 実施対象者	古川小学校6年生36名 1組19名（男子9名、女子10名） 2組17名（男子9名、女子8名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ 障害者スポーツ体験 ） ③ その他（ パラリンピック競技「ボッチャ」体験授業 ）
4 目標 (ねらい)	(1) パラリンピック競技を体験し、スポーツを通して様々な人々と交流できる児童を育成する。 (2) パラリンピックへの興味・関心を高め、障害者理解教育を進める。
5 取組内容	(1) パラリンピック競技「ボッチャ」体験授業 実施日時 令和4年1月18日（火） 6年2組 5校時（13時45分～14時30分） 6年1組 5校時（14時45分～15時30分） 講師 城陽市ボッチャ協会 会長 塚脇 康宏 氏 京都ボッチャ協会 会長 平木 新助 氏 京都障害者スポーツ振興会事務局長 中村 芳道 氏 京都障害者スポーツ振興会事務局次長 井川 善博 氏 (2) 内容 ① 事前学習 ア 「パラリンピック掲示コーナー」の活用 イ 各学級で、パラリンピックについて学ぶ ② ボッチャ協会の方々による体験授業 ア 「ボッチャ」の簡単な説明 イ ルール説明及び投球練習 ウ チーム戦の試合体験 ③ 事後学習 ア 学んだ事のまとめ イ 感想用紙記入

	<p>(3) 児童の活動の様子</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) パラリンピック競技「ボッチャ」のルールや試合のやり方をわかりやすい解説書を使って教えてもらい、児童は興味を持って話を聞き、パラリンピック競技「ボッチャ」への関心が高まった。</p> <p>(2) 実際に試合形式でパラリンピック競技「ボッチャ」を体験させてもらい、どの子も楽しそうに競技をする様子が見られた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>学校のすぐ近くに住んでおられる、城陽市ボッチャ協会の会長でもある塚脇康宏さんと連絡を何度も取り合い、事前打ち合わせも丁寧に行うことができたので、当日は、大変充実した体験授業となった。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大のため、日程調整がなかなか出来ず苦労した。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>障害者スポーツへの興味、関心を引き続き高めていけるよう、可能な範囲で講師を招いての体験授業を開催したり、掲示コーナーの継続をしたりしていきたいと考えている。</p>